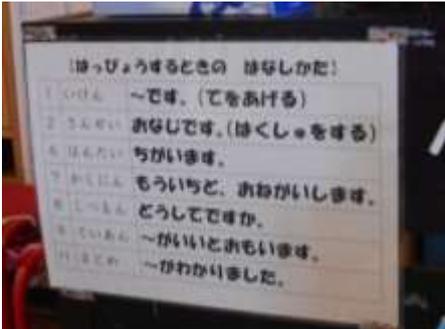


## 教材・支援機器活用実践事例

### 【自分の考えを表現する言葉が分かる支援】

	実施年度	平成28年度
授業について	教科名等	自分の考えを発表しよう。
	単元・題材名	
	授業における子どもの目標	○ 発表時に、意見や賛成、反対、質問など、自分の考えに応じて言葉で伝えることができる。
子どもについて	学級・学校・学年	幼稚園 年長
	対象の障がい	クラス全体
	授業形態	集団
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	○ 発表場で、自分の考えをどう伝えてよいか分からずに困っている園児がいる。賛成や反対、提案など、自分の考えに応じて使う言葉を確認しながら、発表することを習慣化して欲しい。
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<p>「はっぴょうするときのはなしかた」</p> 
	活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どう伝えてよいか分からない園児も、「はっぴょうするときのはなしかた」を見て、適切な表現で考えを伝えられるようにする。</li> <li>○ 自分で確認することで、自己肯定感を下げずに、うまく伝わった経験を増やし、話すこと、伝えることの意欲を伸ばすことができる。</li> </ul>
授業における支援・教材の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園児たちが分かりやすいようにシンプルにする。</li> <li>○ 「いけん」「さんせい」「ほんたい」「ていあん」などの言葉を場面や状況を見せながら説明し、場面や状況に合わせて、自分の考えを相手に伝える言葉に気づくことができるようにする。</li> <li>○ 「いけん」の時には、(てをあげる) など、行動面でも具体的に示していくようにする。</li> </ul>
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園児たちが自分の発表時に「はっぴょうするときのはなしかた」のボードを確認しながら伝えることができた。発表の仕方が分かることで、活動中の話し合いが整理され、支援が必要な園児にとっても参加しやすい状況になった。</li> <li>○ 支援の必要な園児が友だちの発表をモデルにすることにより、表現力の広がりにつながった。</li> </ul>